

第 3 群

認知機能



3-1 意思の伝達（能力）

【選択のポイント】

- ・常時誰にでも伝えられる能力があるか。
- ・手段や相手(家族以外にも伝達できるか)、合理性は問わない。
- ・手話や言語通訳、翻訳アプリの対応ができない状態が日常的にあるのか。

No	事例	選択	理由
1	忘れないが、外国籍でカタコトの言葉の方や、方言が強くて伝わらないことがある場合はどう判断するか。		<u>今の環境</u> で伝えられるかどうか。外国語でも身振り手振りやアプリ翻訳を介して伝えられれば「できる」。また、自宅に外国語の理解がある方や、同郷で方言を理解できる人がいる場合、調査時は伝わらないことがあっても、日頃は伝達ができる環境であれば「できる」とする。(市・不明)
2	問いかけにのみ答えることができるが、何を言っているのかわからないときがある場合の判断は？		当市→「ときどき」or「ほとんど(限定的)」
3	2 択で質問すれば答えることができる場合		質問のレベルにもよるが、込み入った難しい内容でも答えられれば「できる」を選択する場合もある。難しい内容は無言になり答えられないが、日常生活における簡単な2 択で答えられる内容が限定的ではない場合は「ときどき伝達できる」。限定的な簡単な内容の2 択だと「ほとんど伝達できない」。
4	忘れがあって、伝えた内容を忘れてしまった場合自ら「忘れた」と言い伝えられれば「できる」。 無言になったり言葉が出にくくなったりする場合がある場合は「ときどき伝達できる」の判断で良いか？		お見込みどおり。 例えば、「忘れがあり、伝えられない時がある」という曖昧な特記ではなく、どう伝えられないのかまで記載するのが良い。
5	伝えたいことは言葉に出るが、真意が分からない場合はどう判断するか。		同じ内容の質問や会話の内容が数分前とは全く異なる内容で真意が伝わらない場合は「ときどき」と選択。

3-2 毎日の日課を理解（能力）

【選択のポイント】

- ・日課が答えられても、時計を見て自ら動けるかどうか。←そこまではテキスト書いていない。

No	事例	選択	理由
1	日課は答えられなかったが、食事や入浴の時間など理解しており、周囲の人の行動を見て動いている場合はどう判断するか？	できる or できない	何となく流されている感じもあるが、朝・昼・夕どのタイミングのものを行っているのかわかっていなければ「できない」の選択になる場合もある。
2	調査時はそれらしく日課を答え、施設の日課と大差なかった。	できる	選択肢のとおり。大まかな日課は理解できている。

3-3 生年月日や年齢を言う（能力）

【選択のポイント】

- ・年齢は2歳までの誤差(全国统一判断)、生年月日は2・3日までの誤差(市判断)であれば「できる」
- ・単に言い間違えの事もあるので、場合により何度が聞いてみることもある。

No	事例	選択	理由
1	生年月日が年・月・日の数字は正しく答えたが、年号が誤答であった場合の判断は？		生年月日は「できない」の判断。他、年齢の回答状況で選択する。(市)
2			

3-4 短期記憶（能力）

【選択のポイント】

・ 確認方法は家族状況や、当日の立会い者による。

① 「調査直前に何をしていたか」または「当日行ったこと」を覚えているか。

独居もしくは立会い者無しの場合は、テキスト通りの三品テストを実施。

② 上記の確認が曖昧な場合、当市独自の3つの絵カードで3品テストを行う。（あくまで市独自なので参考程度）

+

日頃の状況を確認する。（具体的なエピソードを確認）

【特記事項記入時のポイント】

・ どう答えたのか具体的に記入する。

例）答えるのに時間がかかった。ヒントで答えた。

りんごを「丸い、赤い、果物」と答えたが単語は答えられず誤答。

No	事例	選択	理由
1	調査時正答できており、他の調査項目の内容からも短期記憶はできると思われる方。家族からの聞き取りで「日頃はできない」といわれた場合はどう判断したらよいか。	できない	短期記憶の定義を説明しても家族から「日頃はできない」と言いきられてしまった場合は、その旨を記載し「できない」の選択をする。（※で判断に迷ったと記載することもある） 日頃の具体的なエピソードまで聞き取れると判断しやすい。
2			

3-5 自分の名前を言う（能力）

【選択のポイント】

- ・旧姓でも可能。苗字のみでも可能。

No	事例	選択	理由
1	調査時、自席に貼ってある名前のシールを見て答えた場合は「できない」の判断で良いか？		この調査時の状況のみでは判断できない。 日頃は名前のシールを見なくても答えられるのか、答えられなくても呼名に頷き等で返答があるのか、自席に貼ってある名前を見て自ら席に着くことができるのか等、日頃の状況で判断する。
2			

3-6 今の季節を理解する（能力）

【選択のポイント】

- ・旧暦の季節で答えても可能。

季節…3.4.5 月が「春」、6.7.8 月が「夏」、9.10.11 月が「秋」、12.1.2 月が「冬」

旧暦…1.2.3 月が「春」、4.5.6 月が「夏」、7.8.9 月が「秋」、10.11.12 月が「冬」

⇒「春」と対象者が答えても、季節が境目の時が「春の終わり」か「春の初め」かまで聞けたらなお良し。

No	事例	選択	理由
1	調査時「春」と答えたが、実際は2月であった場合、旧暦で答えている可能性もあるのではどう判断したらよいか。		回答が微妙な場合、季節の行事や桜はもう咲いてるかや、旬な食べ物等で回答とのずれがないか確認が必要。
2			

3-7 場所の理解（能力）

【選択のポイント】

.

No	事例	選択	理由
1	施設に入所中だが、調査時日頃とも「ホテル」と答える場合はどう判断するか。	できる	自宅ではない施設にすることが理解できていれば「できる」の選択で良い。
2	場所の理解はできず、施設内で一度居室をでると自分がどこにいるか分からなくなるが、車椅子を自走することなく、介助者が押して自室に戻る場合、どう判断するか？		自分で自走できるが、自室に戻れない場合は該当するが、そもそも移動に介助が必要で自走することもない場合は該当しない。 居室に限らず、普段生活している場所に戻れるかどうかで判断してください。
3	GH 入所中。調査時「施設」と答えたが、日頃は以前通っていたデイサービスと答える。4 群でも帰宅願望があり、現在生活している施設である理解はない場合は？	なし	今いる場所が「施設」という理解はあるため、該当しない。帰宅願望もあるため、「自宅」「施設」の区別はあると考える。

3-8 徘徊（有無）

【選択のポイント】

.

No	事例	選択	理由
1	定義には「目的もなく動き回る行動」とあるが、「〇〇へ行く」と言い夜中に家から出て外を歩き回る場合、本人は目的があって歩いている状況だが、行動は一般的に言う徘徊。この場合はどう判断するか。 テキストで言う「ここで言う徘徊とは…」から、該当しないということか。	ない	お見込み通り。 目的のある徘徊はここいう徘徊ではない。 ただし、初めは「〇〇行く」等と言いウロウロしていたが、歩き回るうちに目的も忘れていた徘徊になってしまっている時は該当する。また、目的が後付けで（言い訳・作話のよう）であれば該当すると考えて良い。
2			

3-9 外出すると戻れない（有無）

【選択のポイント】

・

No	事例	選択	理由
1	デイでトイレや浴室へ行った後に自席に戻れない場合は判断基準に含むか？		含みません。 外出して戻れない行動の頻度を評価する項目です。デイの同フロア内の移動が外出とみなしません。手間として特記事項のみ記載します。
2			